

# ふくろい 市議会 だより

静岡県袋井市議会



## 身も心もぼっかほか。「親子で冬の韓国クッキング」

1月20日の浅羽会館で「親子で冬の韓国クッキング」に参加した親子が、ピビンバ、チヂミなどの韓国料理を作りました。管理栄養士の指導のもと、親はレシピを片手に、子供達は慣れない手つきで奮闘。終わる頃にはできたての料理と親子のふれあいで身も心もぼっかほかになりました。

No.9  
2007.2.1  
平成19年

## 飲酒運転根絶に関する決議を可決



正・副議長が決議書を磐田警察署長に提出（平成18年12月22日）

平成18年12月定例会は、12月5日から21日までの17日間の会期で開催されました。今定例会では、市長から提出された平成18年度一般会計、介護保険特別会計、簡易水道事業特別会計、公共下水道事業特別会計、駐車場事業特別会計の各補正予算をはじめ、副市長定数条例の制定、袋井市手数料条例の一部改正など17議案と3件の報告、議員提出の飲酒運転根絶に関する決議をはじめとする3議案が上程され、採決の結果、いずれも原案どおり可決しました。

また、市政に対する一般質問は、17人の議員が市長の見解をたずねました。

### 飲酒運転根絶に関する決議（全文）

交通事故のない安全で安心な社会の実現は、私たち袋井市民の願いである。

飲酒運転に対しては、危険運転致死罪の新設や飲酒運転の厳罰化などにより、その根絶が図られてきた。

しかし、飲酒運転による死亡事故や人身事故の発生は、依然として後を絶たない状況にあり、幸せな家族が一瞬にして崩壊していく悲惨な現実がある。

飲酒運転を根絶するには、運転者はもとより、同乗者、家族、職場、さらには地域が一体となって、「飲酒運転は絶対にしてはならない・させない・許さない」という強い意志を示さなければならぬ。

よって、本市議会は、ここに改めて交通安全意識の徹底を強く呼びかけるとともに、市当局を初め関係機関・団体との連携を深め、市民や地域と一体となって飲酒運転の根絶に邁進するものである。

以上、決議する。

# 条例

## 制定

### 副市長定数条例

地方自治法の一部改正により助役制度が見直され、平成19年4月1日から助役に代えて副市長を置き、副市長の定数を1人と定めるものとす。

これまで自治会に依頼し配布していた選挙公報を、新聞折込みによる配布に変更するため、改正を行うものです。

### 市議会の議員その他非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正

障害者自立支援法の施行に伴い、条例中に用いている施設名の改正を行うものです。

### 手数料条例の一部改正

建築基準法の規定に基づく限定特定行政庁の業務が平成19年4月から権限移譲されることに伴い、建築確認申請等の手数料を追加するものです。

### ホームヘルパー派遣手数料条例の一部改正

障害者自立支援法の施行に伴い、本条例で定めておく必要が無くなった条文の一部削除などの改正を行うものです。

### 消防団員等公務災害補償条例の一部改正

非常勤消防団員等の傷病補償年金、障害補償及び介護補償に係る障害について、地方公務員災害補償制度との均衡が図られるよう改正するものです。

## 改正

### 市議会議員及び市長の選挙公報発行条例の一部改正

## 一般会計補正予算

今回の補正予算は、4億1,300万円を増額するものです。これにより、平成18年度予算総額は256億8,000万円となりました。主な事業等は次のとおりです。

減債基金積立金  
(約1億640万円)

\*後年度の財政負担を考慮し、資金を積み立てます。

システム保守等委託料  
(1,050万円)

\*平成19年度からの住民税改正に係る電算システムの改修を行います。

社会福祉法人三宝会新設保育所建設費補助金  
(約1億2,471万円 うち国費1/2)

\*保育所の児童待機者を解消するため、社会福祉法人三宝会へ新設保育所建設費の補助をします。

袋井市森町広域行政組合負担金(ごみ処理施設)  
(約6,718万円)

\*新クリーンセンター建設事業の推進を図ることなどに伴い、負担金が増額になります。

## 討論

(会派より)

静岡県後期高齢者医療広域連合の設置について

「日本共産党」

反対する

「県単位の広域連合は、法律で決まった制度だから」という意見もある。しかし、どのような広域連合を作るのかということについては十分な検討が求められている。提案されている規約を検討してみると、大きな問題を含んでいる。県の資料では、広域連合のメリットの一つに直接公選制の採用が挙げられているが、広域連合議員は20名と極めて少なく、半数にのぼる加入団体が議員を選出できない。また、国民健康保険のよくな運営協議会もなく、被保険者である後期高齢者の意見の反映は全くない。

右のとおり反対討論がありました。採決の結果、賛成多数で可決しました。

浅田二郎議員

福祉行政について

**問** 障害者自立支援法で原則1割の「応益負担」となった。利用者、施設への影響と市の対応は。

**答** 施設では前年度と比較して、7〜13%の減収となっているが、事業者の努力でこれまで同様のサービスの提供されている。市として、

各自自治体の動向を調査し軽減制度等を検討したい。

**問** 改定された介護保険法でも、施設利用者への食費や居住費の負担増などが大変。その実態と市の対策は。

**答** 一般利用者はおおむね1カ月当たり3万円程度の負担増となった。独自の助成制度を講じる際は、近隣市の動向を注視し検討したい。

新市でも「非核平和都市宣言」を

**問** 有事の事態をおこさない平和行政こそ必要。旧浅羽町に有り、合併の課題でもある「非核平和都市宣言」の検討を。

**答** 都市宣言も合併での約束事項だが、市民の総意が前提であり、機運が醸成したときと考える。



知的障害者の自立支援施設

村松 尚議員

市政運営

**問** 今後の市民病院のあり方として、築後30年を見据えた方向性は。

**答** 一番優先すべきは市民病院の現状に対する医師の確保と考える。市民病院をめぐる現状については大変厳しい状況にあり、いろいろ



温室でのメロン栽培

な皆さんのご意見をさらにお伺いし、早く結論を出していくことが市民病院を支えていくことになるという認識を持っている。

**問** 警察署の新設について、最適な場所への設置を望む。

**答** 建設位置、面積については、県警察本部の要請に呼び、おおむね6千平米で、設置可能な場所数力所を候補地として挙げています。一日も早く新しい警察署が建設されるよう、働きかけたい。

農業問題

**問** 温室メロンにおける後継者不足に対する対応は。

**答** 経営の安定と担い手の育成が大切であり、後継者が確保できる環境づくりを、関係機関や団体と連携して進めたい。

## 広岡宥樹議員

### 市民病院について

問

私どものアンケートによると、市民の多くは身近で安心でき、高度な医療も受けられる病院を望んでいる。この点を最後まで追求すべきだと思つがどうか。

答

市民病院問題特別委員会を初め、議員や市民の皆様、



総合計画で副次核に位置づけられた愛野駅周辺

### 幼稚園について

問

新しい「総合計画」で愛野駅周辺は「副次核」と位置づけられている。幼児数が増えている中、位<sup>く</sup>づ<sup>け</sup>にふさわしい文教施設として、幼稚園の配置はどうか。

答

愛野駅周辺に新園舎を建設すべきと考え、検討を進めている。

### ポルトガル語通訳

問

ブラジル人増に伴い、通訳常置が望まれているが、

答

来年度から外国人相談窓口を設置するが、特に需要の多いポルトガル語の通訳の設置は必要と考える。

## 廣岡英一議員

### 道路整備

問

市道湊中新田線湊地区の道路改良において、市から複数案が示されることになっている。それは何か。

答

第1案は、地区幹線道路として集落南側前川沿いにバイパスを整備。第2案は、生活道路として現在の道路を6mに拡幅し待避所を設

問

生活道路は幅員6mの見解だが、地域事情を考慮し、弾力的な考え方はできないか。

答

4m～6mが市道の基準ということ、全市整備を行っている。

### 地域づくり

問

旧浅羽町地域の各自治会で行っている「地明会」制度の存続と全市適用への見解は。

答

お互いの地域活動の良い部分を学びあい、継承していくことが地域コミュニティの発展につながるものと考え。各自治会の特徴を生かした自治活動を引き続き支援したい。



市道湊中新田線を登校する児童（湊地内）

芝田 禮二 議員

農業問題

**問** 海岸背後地の耕作放棄と、風力発電施設の関係は。

**答** 風力発電は、温室効果ガスの削減等に効果がある。しかし地域の景観に及ぼす影響もあり、環境影響調査や住民の意向を聴き、対応したい。

環境問題

**問** 笠原、浅羽地区における河川の汚染と悪臭について原因と対策は。

**答** 養豚事業所の最終排水口での水質検査や悪臭調査を定期的に実施し、基準値はクリアしている。しかし、沈殿槽の一部が機能しない状況があり指導を行った。なお、悪臭対策として、来年度から臭気指数規制制度を導入する。

商業問題

**問** 商店街の活性化にはイベントの継続が大切と思うが。

**答** ふくろい遠州の花火など全国に向けた情報発信を行っているが、当市のよいところを全国に発信していくことは活性化に大変役立つと考える。



駅前商店街で行われた「袋井夏まつり2006」

杉井 征夫 議員

市民病院の現状

**問** 昨年度と比較し、病床利用率、入院・外来患者数などはどうなっているか。

**答** 10月までの実績で、病床利用率は59.5%、昨年度比8.9%の減少である。入院患者数では9%、約5,600人の減少。外来患者数も16%、約2万5000人の減少である。

市民病院の経営実態

**問** 一般会計から病院事業会計へ支援しているが、なお赤字が予想されている。その額はどのくらいか。

**答** 収入は、昨年度より12億円程度下回る約63億円を、支出は、前年度を約6億円下回る約70億円をそれぞれ見込んでいる。結果、本年度末の損失額は7億円前後と予測している。

提言書の受け止め方

**問** 「今後の病院のあり方に関する検討委員会」からの提言に、どう対応するのか。

**答** 新しい病院は、今後の本市の医療体制の根幹的な問題であるとともに、市民生活に大きく影響を及ぼすものである。議会、市民、国や県、さらには医療関係者の御意見を伺い、望ましい方向を定めたい。



今後の病院のあり方に関する検討委員会

## 寺井雄二議員

### 公害監視体制について

**問** 臭気チェック委員制度を設け、環境の改善を図ることができないか。

**答** 悪臭を削減させる観点からも、監視体制の充実を図る必要がある。監視員制度に有効性を感じるので、実施に向けた検討をしたい。

### 公害指導結果について

**問** アスベスト含有廃棄物が工場内の空き地に埋設処分されている。問題はないか。

**答** 市、県及び事業者による協議を行い、埋立地の表面を舗装等することが最善の方法であるという確認をしたが、十分注意を要するものであるので、県の協力をいただきながらきちんとした監視体制をとりたい。

### 職員待遇について

**問** 浅羽学校給食センター臨時職員の処遇改善を。

**答** 臨時職員の任用については、合併時のすり合わせの際、制度は袋井市を、賃金は単価の高い浅羽町の金額を基本とした。今後とも、必要に応じて勤務条件等の見直しを行いたい。



浅羽学校給食センター

## 戸塚文彦議員

### にぎわい新都心まちづくり計画

**問** 中心市街地活性化基本計画の範囲と国本地域のまちづくりの展開方法は。

**答** 国本地域は、中心市街地活性化基本計画の範囲に入らない。しかし、人や情報が行き交う交流のまちづくりが重要であることなどから、にぎわい新都心まちづくり計画の中で取り組む。

### 少子化対策

**問** 少子化対策の一つとして、結婚の奨励策を検討すべきときではないか。

**答** 行政が婚姻の推進を図ることは難しいが、結婚や子育てに夢の持てる社会環境を整備したい。

### 教育施設整備

**問** 園児が増加している袋井南幼稚園、山梨幼稚園の整備や児童が増加している袋井南小学校舎増築への対応は。

**答** 袋井南幼稚園は、愛野駅周辺を候補地に分園を設けていくことが望ましい。山梨幼稚園は、春岡土地区画整理事業地内を候補地に移転することが望ましい。袋井南小学校は、通学区域の弾力化を推し進めた上で、必要な増築を行う。



園児数が増加している袋井南幼稚園

久野松義議員

市民病院について

**問** 市民・患者・職員に不安や悩みを与えないで。

**答** 市民病院がよい病院になるようにとの思いで発言をしていることも御理解いただきたいが、いろいろな方々に不安を与えないよう気配りをした発言を心がきたい。

私自身、これまで以上に市民病院に足を運び、職員とのコミュニケーションを



市民病院

図っていききたい。

**問** 現在の病院の現実に向けて対処・対応することが大事ではないでしょうか。

**答** 現在の病院で一番必要なことは、医師の確保に向けて全力で取り組むこと。また、外部委託等による人件費の削減や材料費や施設改修費の抑制、接遇の向上等にも取り組む。それから、現在、実施中の経営診断で、新たな課題が出てくると思う。それについても、適切に対応したい。

**問** 経営が下降線。原因を具体的に列挙してください。

**答** 最大の理由は医師不足による患者数の減少であるが、施設・設備の老朽化、診療報酬改定、介護保険制度の充実による社会的入院の減少等も起因する。

高木清隆議員

治水対策

**問** 袋井駅南地区総合治水対策への具体的な取り組みについて

**答** 流域内での遊水地の設置とポンプ排水を効率的に組み合わせた治水対策を検討している。また、遊水地等の構造は、自然流下方式を基本に検討したい。



中学生の職場体験（袋井南中学校）

**問** 画一化・共通化教育である一斉指導の問題点をどうとらえ、少人数指導にどう生かしていくのか。

**答** 一斉指導は、生徒一人一人の能力や適正に応じた指導が難しい。各学校では、少人数指導を取り入れ、生徒の習熟度、子供たちの習熟の度合いや興味、関心に応じた学習を進めている。

**問** キャリア教育への取り組みにおける成果と今後の課題について

**答** 職場体験を通して、働く楽しさや厳しさ、社会人としてのマナーの大切さなどを実感したり、進路に対する意識を高めている。受け入れる各事業所等は、相応の負担となるので、キャリア教育への理解と協力を求め、受け入れ先を確保することが課題である。

## 永田勝美議員

### 大型商業施設の進出

**問** 16 haの広大な農地を除外しての新都心まちづくり計画は、中東遠全体の農業発展のシナリオが必要では。

**答** 国本地区は都市と農村の結合部に位置し、他の産業との連携によって本市の農業に新たな価値を加えることができる絶好の場所になると考えている。特に販路の拡大や他産業との連携に



新たにぎわいづくりが検討されている国本地区

## 高橋美博議員

### マンション建設について

よる農産物の高付加価値化などへの取り組みは今後さらに重要性が増すと思う。

### 病院問題

**問** 袋井市は、人口増加、結婚、出生率が非常に高い。若い世代が多い中での小児科、産婦人科の対策は。

**答** 国等は、小児科・産婦人科の集約化・重点化の方向にある。重点化の対象になり得るためにも、まずは医師確保の面で努力したい。

### 警察署設置

**問** 規模・場所選定には、中東遠の中核都市にふさわしい警察署の発想が必要では。

**答** 本市は昔から交通の要衝であり、今後、中東遠の中心的な役割を果たすようになると思っています。

## 高橋美博議員

### マンション建設について

**問** 地域とのあつれきが生じているが、市はどう対応したか。

**答** 地域住民に対する説明会の開催や、電波障害、建設施工中の振動、騒音、交通事故等の防止について、地域との協定を結ぶよう、地域住民の立場に立つて事業者に対して指導してきた。

**問** 紛争予防条例制定の考えはないか。

**答** ご提案の条例については、策定予定の景観計画の中で、建築物の高さや壁面の位置を定め条例化することや、都市計画の中で建物の高さの最高限度や最低限度を定める高度地区など、各種制度を踏まえ研究したい。

**問** まちづくり条例、地区計画により、規制・誘導が必要ではないか。

**答** 現在本市では、良好な市街地の誘導を行う地区計画を14地区で定め、うち13地区で高さ制限を規定し、良質なまちづくりに努めている。しかし、地区計画を定めていない地域もあるので、今後各地域の皆様とともに、各地区の特徴を踏まえた地区計画を推進したい。



地区計画が定められている祢宜弥地区

竹原和義議員

アグリバイオと電磁冷凍

問 ハイドロゲル・シートの有効活用について

答 ゼリーのようなゲル状の物質に水や養分を吸い込ませたハイドロゲル・シートを活用した栽培方法は、農作業の省力化が図られるなどの特徴があると言われている。市でも、新しい技術や栽培方法の情報収集とともに検証を進め、遠州中央農協等へも積極的に情報提



クラウンメロン

供したい。

問 クラウンメロンと電磁冷凍について

答 食品の組織を破壊することなく、うまみと鮮度を保つことができる電磁冷凍の技術は、食品流通にとつて画期的である。活用によっては、新たな販路の拡大も期待されるので、クラウンメロン支所にも紹介したい。

地域団体商標権

問 「クラウンメロン」に袋井の地域名を入れて地域団体商標を登録申請することについて

答 まずは、クラウンメロン支所にお話をしたい。地域名を入れて地域団体商標を登録することで、より有利に商品展開できるならばよいことだと考える。

田中克周議員

「早寝・早起き・朝ごはん」運動について

問 乳幼児期の取り組みが特に重要と考えるが、保護者への啓蒙は、

答 学級や講座等を通して、引き続き家庭教育の充実や健やかな体づくりのための事業に取り組み、保護者への啓蒙を図りたい。

問 食育の観点から、栄養教



市民活動団体の活動拠点となっている「ふらっと」

論の配置が必要と考えるがどうか。

答 栄養教諭の資格を取得するため、現在3人が認定講習を受講中である。県も具体的な検討に入る意向とのことなので、配置に向け、働きかけたい。

協働まちづくりセンター「ふらっと」について

問 開設以来7カ月が経過した。活動状況及び課題は、

答 12月1日現在、42の登録団体が自主的に活動している。利用者同士のコミュニケーションも増え、団体間の結びつきも深まっている。課題は、施設利用促進のための情報提供不足、昭和62年建築の施設のため、一部にユニバーサルデザインや利便性に欠けることなどである。

## 伊豫田 貞雄 議員

### 行政問題

**問** 合併特例債起債で、優先すべき事業は何か。

**答** 大きなものだと、地域交流プラザとJR駅舎になる。新しいまちづくり関連事業なども想定され、財政計画の枠を頭に置き、合併特例債の期間である10年間の中で可能な限りやるべきものはやり、合併特例債を充て

ていきたい。

**問** 健康管理センターと市立体育館併設の構想は。

**答** 新病院の姿がどうなるかに大きな関係を持っている。それによって健康管理センターのあり方も変わってくる。また、センターと体育館の機能連携により、どれくらいの相乗効果が生ずるか、そうした検討もしていく必要がある。現段階では併設までの検討はしておらず、今後の検討材料である。

**問** 袋井北小学校のプール更新に向けて着工はいつになるか。

**答** 現在、プール建設に向けた基本設計を実施している。実現については、現在策定している教育施設の整備計画の中で早期の着工を目指して、位置づけをしたい。



袋井北小学校のプール（昭和40年築）

## 大場 正昭 議員

### 新年度予算編成

**問** 合併3年目を迎える平成19年度についての基本的な考え方、方針は。

**答** 総合計画で定めた事業を計画的に進める。限られた財源を有効に、後年の財政負担にならないよう気を遣うとともに、地域的バランスやソフトとハード面のバランスに意を尽くしたい。

### 市制施行5周年記念事業

**問** 多くの市民の皆さんが参加できるイベント、例えば「市民大運動会」の開催などはどうか。

**答** 市民大運動会は、健康文化都市を標榜する本市にとって、よい5周年記念イベントになると思う。検討したい。

### 産業祭の開催

**問** 産業祭を立案中と聞くが開催時期、場所及びその内容は。市単独開催の予定は。

**答** エコパを会場に、農業製品と工業製品等を一堂に会し、県の支援も得て、近隣の市町と合同での再来年開催に向け、調整している。市単独開催は、現在実施されている産業祭的イベントの各実行委員会等との意見調整が必要である。



地域で開催されているふれあい体育祭

戸塚 和議員

袋井市ふれあい夢市場

**問** 今後このイベントを続けていくには、具体的にどのように進め、産業のPRの場としてどこで開催していくか。

**答** 今後の継続については、ふれあい夢市場実行委員会 の御意向、御意見を伺い、方向性を定めたい。

国道150号バイパス

**問** 国道150号バイパスの進捗状況はどうか。

**答** 地元8自治会の説明会を開催し、線形の協議をしている状況である。一日も早く都市計画決定ができるよう準備を進めたい。

体験学習

**問** 現在、市内各小中学校において多くの体験学習が行われているが、さらに多くの分野も含めたよりよい体験学習が必要と考えるがどうか。

**答** 体験学習は、子供たちにもみずから学び、考える力を身につけさせるのに大変有効で、心の教育においても大きな教育効果が認められている。今後も各学校で内容や指導方法について見直しや改善を進め、心豊かな子供の育成に努めたい。



浅羽会館をメイン会場に開催された「ふれあい夢市場」

## 総務文教委員会のレポート

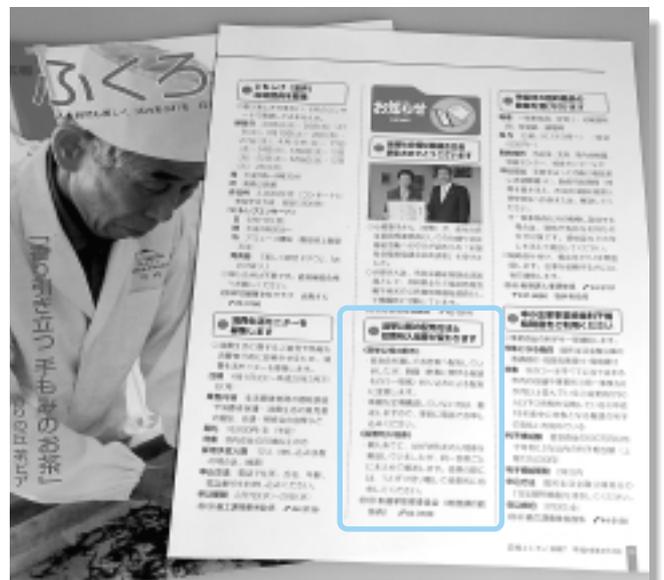
### 副市長の具体的な権限内容や事務委任については。

委任する事務の範囲についてはまだ決まっていません。また、現在プロジェクト等で助役・収入役が中心的な関わりを持ってやっていますが、どのようなものを事務委任するかは、今後検討することとなっています。

### 選挙公報が新聞折り込みとなるが、新聞をとられていない方への配布はどのように考えているのか。

新聞折り込みにした場合、新聞をとられていない方への対応が必要となりますので、広報紙でPRし、申し込みをいただいた方には郵送をとおしてあります。

また、公民館等にも配置をいたしますので、ご利用いただきたいと思います。



広報ふくろい(2/1号)による選挙公報配布方法のPR

## 民生福祉委員会のレポート

静岡県後期高齢者医療広域連合の県内市町負担金総額とその用途は。また、広域連合議員となる市町議会議員のバランスは。



耐震性貯水槽設置工事の様子（浅羽西公民館内）

負担金総額は3,058万円余（うち本市分は135万8,000円）で、用途は7人分の職員人件費や事務所使用料等の物件費及び工事費です。県内市町の数、市23、町19をもとに、市議会議員より6人、町議会議員より4人とされました。

耐震性貯水槽設置事業及び消防ポンプ自動車整備事業が合併特例債の適債事業となった理由は。

合併特例債は、合併に伴う新市の一体化や合併に伴い必要となった建設事業に充当する財源となります。

今回、適債事業となった耐震性貯水槽及び消防ポンプ自動車は、県との協議の中で合併に伴う建設事業として認められたものです。

## 建設経済委員会のレポート

春岡に磐田用水からパイプラインで用水を引くとのことだが、いままではどのようにしていたのか。また、受益者の負担は1反当たりいくら位になるのか。

これまでは宇刈川など流域の河川やため池から取水していました。受益者の負担は1反当たり約5万円になります。

笠原地区の簡易水道統合整備事業に関連し、消火栓の新設を当初の8基から17基に増やすとのことだが、その理由は何か。

西区では、当初の2基でカバーできていないと

ころを見直し、3基増設します。三輪地区も、当初の6基を、見直しにより3基増設します。また、当初設置予定になかった三沢地区で平成19年4月に児童福祉施設がオープン予定であり、周辺に住宅、山林が隣接しているため、新たに3基設置します。



簡易水道統合整備事業により設置された消火栓

## 道路整備予算の確保に関する意見書

国道1号においては、新天竜川架橋整備が完了し、8車線が供用開始になることから、全線の4車線化及び高架化の早期実現が極めて重要である。また、国道150号については、国道1号に次ぐ道路として重要な役割を担っているが、交通渋滞の慢性化によりバイパス新設が重要な課題となっている。

よって、国においては、道路整備に必要な予算の確保に努めるとともに、長期的視点に立った道路整備が図られるよう次のとおり強く要望する。

- 1 地方の道路整備の実情や意見を十分把握するとともに、計画的かつ着実に推進すること。
- 2 特に、国道1号の全線4車線化・高架化及び国道150号のバイパス新設整備を促進すること。

衆・参議院議長他あてに提出しました。

## 介護保険の国庫負担割合に関する意見書

制度発足時、国は公費負担50%分の半分25%を負担するとしていた。しかし、本市の例を見れば、平成17年度では調整交付金4.88%を含む国庫支出金は24.88%と25%に達していない。

介護保険料が高い最大の理由は、介護保険制度の導入時に公的介護費用に占める国庫負担の割合を50%から25%へと縮小したことにあり、これを計画的に元に戻す必要がある。

よって、介護給付費負担金については、各保険者に対し給付費の25%を確実に配分し、現行の調整交付金は別枠化するよう強く求めるものである。

内閣総理大臣、厚生労働大臣あてに提出しました。

## 市議会のライブ中継を行っています

より開かれた市議会を目指し、定例会、臨時会の本会議ライブ中継を行っており、市議会ホームページでご覧いただけます。なお、市ホームページ(<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>)からインターネット中継ページへの移動方法は次のとおりです。

例 市ホームページ「市議会情報」を **クリック**

「袋井市議会」を **クリック**

「市議会本会議のインターネット中継」を **クリック**

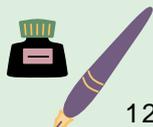
## 会議録が検索できるようになりました

本会議の会議録が、キーワードなどを入力することにより、見たい箇所が簡単に検索できるようになりましたので、ぜひご利用ください。なお、市ホームページから会議録検索ページへの移動方法は次のとおりです。

例 市ホームページ「市議会情報」を **クリック**

「会議録の検索」を **クリック**

「市議会の本会議会議録ホームページ」を **クリック**



## 編集後記

12月議会では、病院問題を初め、多くの行政課題について、一般質問が出されました。市民の皆様が安心して暮らせるまちをめざし、議会と当局が両輪となって、邁進いたします。広報委員一同、そうした市政の様子をわかりやすくお伝えできるよう頑張ります。

## 3月定例会のお知らせ

3月市議会定例会は次のとおり行う予定です。

場所 市役所5階議場または各委員会室

時間 午前9時から

(最終日については、午後1時30分からを予定しています。)

日程 3月 1日(木) 開会、議案の説明

7日(水) 市政に対する一般質問

8日(木) 市政に対する一般質問

9日(金) 市政に対する一般質問

12日(月) 議案の審査(常任委員会)

13日(火) 議案の審査(常任委員会)

14日(水) 議案の審査(常任委員会)

22日(木) 委員長報告～採決、閉会

## あなたも議会を 傍聴してみませんか

当日、受付をしますので、市役所5階の議会事務局までお越しください。

議場のバリアフリー化を目指し、段差解消機及び車イス優先の傍聴スペースを設置しております。また、耳の不自由な方に対しても、赤外線補聴システムを利用した補聴器を用意しております。

\*足の不自由な方、妊婦の方なども段差解消機を利用し傍聴席へ入れます。

\*段差解消機のご利用は、職員による操作が必要になりますので、議会事務局へ声をおかけください。